

【提案項目】

42 持続可能な医療提供体制の確保に向けた医師確保策について

【提案要旨】持続可能な医療提供体制の確保に向けた医師確保策

■提案事項

○ 医師の確保について、地域偏在や診療科偏在の是正策に取り組むこと

地域枠医師等を、人口10万人対医師数や医師偏在指標の相対的に低い地域へ確実に配置するように配置ルールを見直すとともに、知事指定診療科に不足感の著しい小児科を追加し、小児科医師偏在指標等の低い地域へ優先的に配置するなど、地域の実情を踏まえた医師の偏在解消が必要である。

○ 持続可能な医師確保の仕組みを構築すること

広島県の「高度医療・人材育成拠点」基本計画を推進し、地域の医療機関に確実に医師が確保される仕組みを構築することが必要である。

○ 救急医療提供体制の維持・確保に向けた取組を行うこと

救急医確保のための指導・育成・支援の体制整備に取り組むことが必要である。また、地域の実情に応じた、二次救急医療の持続的な運営のための支援制度が必要である。

42 持続可能な医療提供体制の確保に向けた医師確保策について

東広島市の現状と課題・取組状況

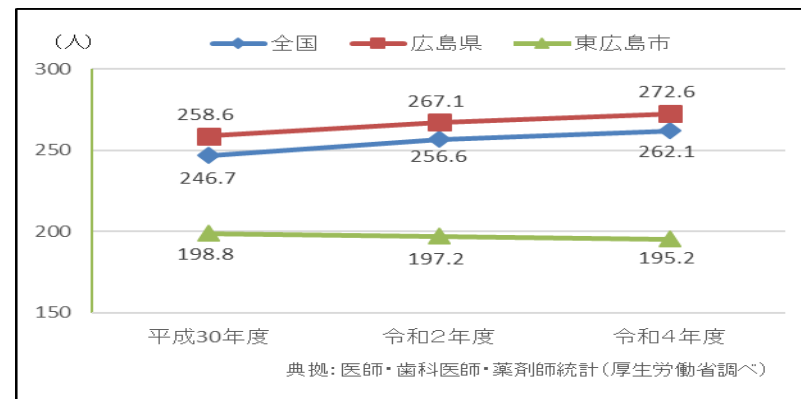
- 本市においては、臨床研修病院が東広島医療センターのみである等の理由から、地域医療を担うべき医師の確保が他圏域に比して非常に困難な状況となっている。また、本市の人口は増加傾向にある中、人口10万人当たりの従事医師数や医師偏在指標は、広島県及び全国を大きく下回っており、その差も広がってきている。
- こうした医師不足の現状から、二次救急病院群輪番制では、病院により当番日数の偏りが生じたり、東広島市休日診療所でも出務医が不足するなど、救急医療体制の維持・継続が困難な状況になりつつある。
- 東広島医療センターへの救急搬送を分散させ、地域での救急医療強化を図るため、令和5年度から平日昼間の二次救急当番日において医師を確保した医療機関に対して補助金を交付する取り組みを行っている。

【医師偏在指標の圏域別の状況】

区 分	医師全体			分娩取扱医師			小児科医師		
	偏在指標	順位	備考	偏在指標	順位	備考	偏在指標	順位	備考
全国	255.6	-		10.5			115.1		
広島県	254.2	22		8.6	41	下位	101.1	38	下位
広島	298.9	41	多数区域	9.9	114		104.7	165	
広島西	239.1	82	多数区域	3.9	269	少数区域	148.5	30	
呉	266.7	60	多数区域	9.9	111		116.6	114	
広島中央	200.4	159		6.0	249	少数区域	75.4	271	少数区域
尾三	198.2	169		9.4	130		93.4	198	
福山・府中	201.3	154		7.6	186	少数区域	84.4	234	少数区域
備北	219.8	107	多数区域	9.1	139		107.5	148	

出展:「医師偏在指標(R6.1.10更新)」厚生労働省

【人口10万人対従事医師数】



【二次救急病院の当番日の状況(令和5年度)】

